

25年度運動会総練習について

台風一過、本当に雲ひとつない素晴らしい青空の下で実施できました。子どもたちは、行事の一つとして楽しんで参加していたように思いました。さすがに3連休の後ということで、日頃からあまり落ち着きのない子や、家庭で上手に過ごせなかった子は厳しかったようです。しかし、応援団の中心になる子や委員会で仕事のある子は各自責任をもって活動することができました。もちろん、なかま班での活動も練習成果を十分に発揮でき、低学年の子も含めて多くの児童がきちんと練習することが出来ました。

開会式の挨拶の中で2つ伝えました。「①2020年に世界の運動会＝オリンピックが開催される。その会場が東京に決まったこと。7年後になるが、その時今の6年生は19歳に1年生は13歳になっている。それまでに、日本の国は外国のお客様をお迎えする準備をする。その中で『おもてなし』という来ていただく人によい気分で過ごしていただく気持ちを大切にす。②運動会の練習は、全校児童と全職員で行っている。ただ、校長と教頭はその割り振りが無い。でも、職員室に居るわけではなく常に練習を見てきた。その手には軍手があり、鎌やクワがあった。少しでもよい環境で運動会を迎えたいという気持ちでやってきたが、6年生が『ありがとうございます』『ぼく達のために草を取ってくれてうれしいです』などの言葉をもらった。自然に出てくるその優しい心遣いにとても嬉しく頼もしく思った。こちらこそ『ありがとう』」

総練習自体は、思ったより時間がかかり全部を終了することが出来ませんでした。しかし、課題や準備不足の箇所が明らかになりました。あと5日で改善できる範囲だと思います。きっと、今日より素早く動くことができると思います。児童に対する指導はいつものように「焦らず」「粘り強く」「我慢強く」行いましょう。